



製品マニュアル更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-755F
EB-750F
EB-735Fi
EB-725Wi
EB-725W

更新ファームウェアについて 4

ファームウェア Ver.1.20の概要5

メニュー項目に関する変更 (Ver.1.20)5

操作方法に関する変更 (Ver.1.20)5

ファームウェア Ver.2.00の概要6

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)6

操作方法に関する変更 (Ver.2.00)6

ファームウェア Ver.2.10の概要7

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.10)7

ファームウェア Ver.2.20の概要8

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.20)8

操作方法に関する変更 (Ver.2.20)8

ファームウェア Ver.2.35の概要9

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.35)9

ファームウェア Ver.2.40の概要10

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.40)10

操作方法に関する変更 (Ver.2.40)10

ファームウェア Ver.2.41の概要11

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.41)11

ファームウェアの変更詳細について 12

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.20)13

メニューカラー/ツールバーの色13

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.20)14

ホワイトボードのズーム操作14

Crestron Connectedの更新14

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)15

AV出力15

無信号時画面15

ホーム画面自動表示15

待機モードと高速起動16

トランスミッター設定16

無線LAN方式17

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00)18

ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)18

はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備18

ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する19

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.10)20

AV出力20

オートパワーオン20

起動条件21

待機モードと高速起動21

トランスミッター設定22

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.20)23

ツールバーのマウスボタン23

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.20)24

マウスボタンとステータスインジケータをツールバーに追加24

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.35)25

タッチユニットメニューにタッチユニット設置 (手動) を追加25

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.40)26

アクセス制御およびセカンダリ接続26

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.40)27

Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更27

ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加27

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.41)28

アクセス制御およびセカンダリ接続28

付録 29

オプション 30

無線LAN用オプション 30

一般のご注意 31

ご注意 31

商標について 31

著作権について 31

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ファームウェア Ver.1.20の概要」 [p.5](#)
- 「ファームウェア Ver.2.00の概要」 [p.6](#)
- 「ファームウェア Ver.2.10の概要」 [p.7](#)
- 「ファームウェア Ver.2.20の概要」 [p.8](#)
- 「ファームウェア Ver.2.35の概要」 [p.9](#)
- 「ファームウェア Ver.2.40の概要」 [p.10](#)
- 「ファームウェア Ver.2.41の概要」 [p.11](#)

ファームウェア Ver.1.20での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.1.20)」 [p.5](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.1.20)」 [p.5](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.1.20)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

表示メニュー

- [メニューカラー] を追加

インタラクティブメニュー (EB-735Fi/EB-725Wi)

- [ツールバーの色] を追加

▶ 関連項目

- 「メニューカラー/ツールバーの色」 [p.13](#)

操作方法に関する変更 (Ver.1.20)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ホワイトボードと入力映像で画面を分割しているときに、ホワイトボードの表示倍率を幅に合わせたり高さに合わせたりできる [ズーム] 機能を追加 (EB-735Fi/EB-725Wi)
- 最新バージョンのCrestron Connectedを搭載

▶ 関連項目

- 「ホワイトボードのズーム操作」 [p.14](#)
- 「Crestron Connectedの更新」 [p.14](#)

ファームウェア Ver.2.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.6](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.6](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムの追加に伴い、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

信号入出力メニュー

- [A/V出力] の項目表示条件を追加

表示メニュー

- [無信号時画面] に設定値を追加
- [ホーム画面自動表示] の項目表示条件を追加

動作メニュー

- [待機モード] と [高速起動] の項目表示条件を追加

ネットワークメニュー

- [トランスミッター設定] を追加

ネットワーク設定メニュー

- [無線LAN方式] を追加

▶ 関連項目

- 「A/V出力」 [p.15](#)

- 「無信号時画面」 [p.15](#)
- 「ホーム画面自動表示」 [p.15](#)
- 「待機モードと高速起動」 [p.16](#)
- 「トランスミッター設定」 [p.16](#)
- 「無線LAN方式」 [p.17](#)

操作方法に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って投写できます。

ワイヤレスプレゼンテーションシステム (ELPWP10) には、2つのトランスミッター (ELPWT01) と1つの無線LANユニット (ELPAP11) が含まれています。

詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

▶ 関連項目

- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)」 [p.18](#)

ファームウェア Ver.2.10での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更（Ver.2.10）」 [p.7](#)

メニュー項目に関する変更（Ver.2.10）

本バージョンでは、Microsoft Teams Rooms対応に伴い、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

信号入出力メニュー

- [A/V出力] の項目表示条件を追加

動作メニュー

- [オートパワーオン] の内容を変更
- [起動条件] を追加
- [待機モード] と [高速起動] の項目表示条件を追加

ネットワークメニュー

- [トランスミッター設定] の [オートパワーオン] の項目表示条件を追加

ファームウェア Ver.2.20での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更（Ver.2.20）」 [p.8](#)
- 「操作方法に関する変更（Ver.2.20）」 [p.8](#)

メニュー項目に関する変更（Ver.2.20）

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

インタラクティブメニュー（EB-735Fi/EB-725Wi）

- 「ツールバーのマウスボタン」を追加

▶ 関連項目

- 「ツールバーのマウスボタン」 [p.23](#)

操作方法に関する変更（Ver.2.20）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- マウスボタンとステータスインジケータをインタラクティブツールバーに追加（EB-735Fi/EB-725Wi）

▶ 関連項目

- 「マウスボタンとステータスインジケータをツールバーに追加」
[p.24](#)

ファームウェア Ver.2.35での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更（Ver.2.35）」 [p.9](#)

メニュー項目に関する変更（Ver.2.35）

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

タッチユニットメニュー（EB-735Fi/EB-725Wi）

- [タッチユニット設置（手動）] を追加
- [タッチユニット設置] の項目名称を [タッチユニット設置（自動）] に変更

▶ 関連項目

- 「タッチユニットメニューにタッチユニット設置（手動）を追加」
[p.25](#)

ファームウェア Ver.2.40での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.40)」 [p.10](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.40)」 [p.10](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.40)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

[ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]

- [割り込み接続] を削除
- [アクセス制御] を追加
- [セカンダリ接続] を追加

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 [p.26](#)

操作方法に関する変更 (Ver.2.40)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Screen Mirroringでの投写中にデバイスを強制的に切断できるようになりました。
- ホーム画面に [ブロックリスト削除] アイコンが追加されました。

▶ 関連項目

- 「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 [p.27](#)
- 「ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加」 [p.27](#)

ファームウェア Ver.2.41での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更（Ver.2.41）」 [p.11](#)

メニュー項目に関する変更（Ver.2.41）

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

[ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]

- [アクセス制御] メニューの [オン] の表示条件を追加
- [セカンダリ接続] に設定値として [割り込み接続許可] を追加

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 [p.28](#)

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.1.20）」 [p.13](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細（Ver.1.20）」 [p.14](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.00）」 [p.15](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.00）」 [p.18](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.10）」 [p.20](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.20）」 [p.23](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.20）」 [p.24](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.35）」 [p.25](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.40）」 [p.26](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.40）」 [p.27](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.41）」 [p.28](#)

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニューカラー/ツールバーの色」 [p.13](#)

メニューカラー/ツールバーの色

[メニューカラー] が [表示] メニューに、[ツールバーの色] が [インタラクティブ] メニューに追加されました。

変更前の表示メニュー (Ver.1.00)

設定項目なし

変更後の表示/インタラクティブメニュー (Ver.1.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	メニューカラー	• 黒 • 白
インタラクティブ (EB-735Fi/EB-725Wi)	ツールバーの色	• 黒 • 白

[メニューカラー] で、ホーム画面とプロジェクターメニューのカラーテーマを設定します。[ツールバーの色] で、インタラクティブツールバーの色を設定します。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「ホワイトボードのズーム操作」 [p.14](#)
- 「Crestron Connectedの更新」 [p.14](#)

ホワイトボードのズーム操作

ホワイトボードと入力映像で画面を分割しているときに、ホワイトボードの表示倍率を幅に合わせてたり高さに合わせてたりできる「ズーム」機能が追加されました (EB-735Fi/EB-725Wi)。拡大表示しているときは、画面をドラッグして表示位置を動かすことができます。

変更前のズーム動作 (Ver.1.00)

ホワイトボード画面の左端に表示される  ボタンを押すと、以下のズーム機能が使用できます。

-  : 画像を縮小します。
-  : 画像を拡大します。
-  : 元のサイズに戻します。
-  : 選択したエリアを拡大します。

変更後のズーム動作 (Ver.1.20)

ホワイトボード画面の左端に表示される  ボタンを押すと、従来のズーム機能に加えて以下のズーム機能が使用できます。

-  : 2画面投写中にホワイトボードの表示倍率を幅に合わせて変更し、ホワイトボード全体を表示します。
-  : 2画面投写中にホワイトボードの表示倍率を高さに合わせて変更し、ホワイトボードを等倍表示します。

Crestron Connectedの更新

最新バージョンのCrestron Connectedを搭載しました。Crestron Connectedの詳細については、Crestron社のWebサイトを参照してください。

変更前のCrestron Connected (Ver.1.00)

Crestron Connected V1を搭載しています。

変更後のCrestron Connected (Ver.1.20)

Crestron Connected V2を搭載しています。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「A/V出力」 [p.15](#)
- ・「無信号時画面」 [p.15](#)
- ・「ホーム画面自動表示」 [p.15](#)
- ・「待機モードと高速起動」 [p.16](#)
- ・「トランスミッター設定」 [p.16](#)
- ・「無線LAN方式」 [p.17](#)

A/V出力

「A/V出力」の項目表示条件が追加されました。

変更前の 信号入出力メニュー (Ver.1.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	「動作」メニューの「高速起動」が「オフ」のとき表示されます。

変更後の信号入出力メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 ・「動作」メニューの「高速起動」が「オフ」に設定されている ・「ネットワーク」メニューの「オートパワーオン」が「オフ」に設定されている

無信号時画面

「無信号時画面」に設定値として「グラデーション」が追加されました。

変更前の 表示メニュー (Ver.1.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	無信号時画面	黒 青 ロゴ

変更後の 表示メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	無信号時画面	黒 青 ロゴ グラデーション

ホーム画面自動表示

「ホーム画面自動表示」の項目表示条件が追加されました。

変更前の 表示メニュー (Ver.1.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
表示	ホーム画面自動表示	—

変更後の表示メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
表示	ホーム画面自動表示	[ネットワーク] メニューの [接続ガイド表示] が [オフ] のとき表示されます。

待機モードと高速起動

[待機モード] と [高速起動] の項目表示条件が追加されました。

変更前の動作メニュー (Ver.1.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	[信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] のとき表示されます。
	高速起動	

変更後の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。 • [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている
	高速起動	

トランスミッター設定

[トランスミッター設定] が追加されました。

変更前のネットワークメニュー (Ver.1.20)

設定項目なし

変更後のネットワークメニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	トランスミッター設定	ペアリング開始
		オートパワーオン
		接続ガイド表示

ペアリング開始

Epson Wireless Transmitter Settingsを使って、コンピューターからトランスミッターのネットワーク情報を更新します。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。

無線LANユニットが取り付けられ、[ネットワーク設定] メニューの [シンプルAP] が [オン] のとき表示されます。

オートパワーオン

[オン] にすると、ワイヤレスプレゼンテーションシステムでコンピューターを接続したときに、本機の電源がオンになります。

以下の場合に表示されます。

- [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている
- [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

接続ガイド表示

[オン] にすると、本機の起動時に入力信号がない場合に、ホーム画面ではなくトランスミッター (Epson Wireless Presentation) の接続ガイドを自動的に表示します。設定の変更は、本機の電源を入れないと有効になります。

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続するときには、[オフ] にします。

〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のとき表示されません。

無線LAN方式

〔無線LAN方式〕が追加されました。

変更前のネットワーク設定メニュー（Ver.1.20）

設定項目なし

変更後のネットワーク設定メニュー（Ver.2.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	ネットワーク設定	無線LAN方式 802.11ac (Wi-Fi 5) 802.11n (Wi-Fi 4)

本機とモバイルデバイスの通信方式を選択します。

お住まいの国や地域により、選択できる方式は異なります。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)」 [p.18](#)

ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)

オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使用すると、無線LANに対応したコンピュータとプロジェクターを簡単に無線接続できます。ワイヤレスプレゼンテーションシステム (ELPWP10) には、2つのトランスミッター (ELPWT01) と1つの無線LANユニット (ELPAP11) が含まれています。

詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

▶ 関連項目

- 「はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備」 [p.18](#)
- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する」 [p.19](#)

はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備

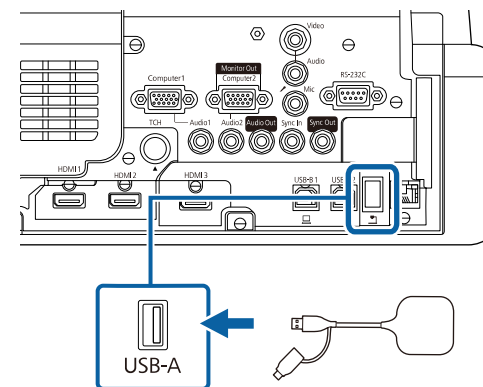
トランスミッターとプロジェクターをペアリングするなど、ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って投写するための準備をします。



- ペアリングする前に、本機のネットワーク設定を行ってください。
- 「[ネットワーク設定] メニューの「プロジェクター名」または「パスフレーズ」を変更したときは、トランスミッターを再度ペアリングする必要があります。
- Epson Wireless Transmitter Settingsを使うと、コンピュータからペアリングできます。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。
- 必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/download

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 トランスミッターを本機のUSB-A端子に接続します。



ネットワーク情報が書き込まれ、完了メッセージが表示されます。ペアリング完了まではしばらく時間がかかります。

⚠ 注意

ネットワーク情報の書き込み中は、プロジェクターから電源コードやトランスミッターを取り外さないでください。電源コードやトランスミッターを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。完了メッセージの表示を確認してからトランスミッターを取り外すようにしてください。

3 続けてペアリングする場合は、もう1つのトランスミッターを接続します。

4 必要に応じて「はい」を選択し、「接続ガイド表示」を「オン」にします。



- 「はい」を選択することをお勧めします。次回以降、本機の起動時に入力信号がない場合に、トランスミッター（Epson Wireless Presentation）の接続ガイドが表示されます。
- 「接続ガイド表示」が「オフ」で「コンテンツ再生」が「オフ」のとき、「接続ガイド表示」を「オン」にするメッセージが表示されます。
- 「ネットワーク」メニューで接続ガイドの表示を変更できます。
☞ 「ネットワーク」 > 「トランスミッター設定」 > 「接続ガイド表示」

5 トランスミッターを取り外して、無線LANユニットを取り付けます。

6 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

7 「管理」メニューの「無線LAN電源」が「オン」に、「ネットワーク設定」メニューの「シンプルAP」が「オン」になっていることを確認します。

本機を再起動して、接続ガイドの表示設定を有効にすることをお勧めします。



「ネットワーク」メニューの「オートパワーオン」を「オン」に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）でも投写を開始できます。

☞ 「ネットワーク」 > 「トランスミッター設定」 > 「オートパワーオン」

ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する

ペアリング済みのトランスミッターを使うと、プロジェクター（レシーバー）とWindows/Macコンピューターを直接接続し、素早く簡単に映像を投写できます。



無線LANユニットが本機に取り付けられていることを確認します。

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターのUSB端子にトランスミッターを接続します。

3 トランスミッター内のEpson Wireless Presentationを使って投写します。詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「A/V出力」 [p.20](#)
- ・「オートパワーオン」 [p.20](#)
- ・「起動条件」 [p.21](#)
- ・「待機モードと高速起動」 [p.21](#)
- ・「トランスミッター設定」 [p.22](#)

A/V出力

「A/V出力」の項目表示条件が追加されました。

変更前の信号入出力メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 ・ [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている ・ [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている

変更後の信号入出力メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 ・ [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている ・ [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている ・ [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている

オートパワーオン

「オートパワーオン」の内容が変更されました。

変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	内容
動作	オートパワーオン	オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。 本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 [USB Display] は [USB Display] が [オン] のとき表示されます。(EB-735Fi/EB-725Wi)

変更後の動作メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	内容
動作	オートパワーオン	オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。 [HDMI1] を選択したときは、[起動条件] で本機の起動方法を設定します。 [USB Display] は [USB Display] が [オン] のとき表示されます。(EB-735Fi/EB-725Wi)

起動条件

[起動条件] が追加されました。

変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

設定項目なし

変更後の動作メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
動作	起動条件	接続検出
		信号検出

[オートパワーオン] が [HDMI1] に設定されているときの本機の起動方法を設定します。

接続検出

接続機器の起動を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。

信号検出

HDMIビデオ信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。

Microsoft Teams Roomsを使ってビデオ会議を行うとき、便利です。Microsoft Teams Rooms対応機器からのビデオ信号を検知して、自動的に本機の電源が入るため、すぐに会議を開始できます。



[信号検出] に設定すると待機電力が上がります。使用環境を考慮のうえ、設定してください。

待機モードと高速起動

[待機モード] と [高速起動] の項目表示条件が追加されました。

変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。 • [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている
	高速起動	

変更後の動作メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。 ・ [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている ・ [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている ・ [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている
	高速起動	

変更後のネットワークメニューのトランスミッター設定 (Ver. 2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
ネットワーク	トランスミッター設定	[オートパワーオン] 以下の場合に表示されます。 ・ [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている ・ [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている ・ [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

トランスミッター設定

[トランスミッター設定] の [オートパワーオン] の項目表示条件が追加されました。

変更前のネットワークメニューのトランスミッター設定 (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
ネットワーク	トランスミッター設定	[オートパワーオン] 以下の場合に表示されます。 ・ [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている ・ [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「ツールバーのマウスボタン」 [p.23](#)

ツールバーのマウスボタン

[インタラクティブ] メニューに [ツールバーのマウスボタン] が追加されました。

変更前のインタラクティブメニュー（Ver.2.10）

設定項目なし

変更後のインタラクティブメニュー（Ver.2.20）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
インタラクティブ (EB-735Fi/EB-725Wi)	ツールバーのマウスボ タン	• オン • オフ

[ツールバーのマウスボタン] では、マウスボタンをインタラクティブツールバーに表示するかどうかを設定します。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「マウスボタンとステータスインジケータをツールバーに追加」
[p.24](#)



- マウス操作が可能なのは、[PC操作] が有効のときです。
- マウスボタンは、[設置] メニューで [スクリーンタイプ] が [16:9] (EB-735Fi) または [16:10] (EB-725Wi) に設定されているときに表示されます。

マウスボタンとステータスインジケータをツールバーに追加

マウスボタンとステータスインジケータがインタラクティブツールバーに追加されました (EB-735Fi/EB-725Wi)。インタラクティブペンまたは指でマウスボタンを選択すると、ボタンを押したペンまたは指でコンピューターのマウスカーソルを操作することができます。ステータスインジケータでは、各インタラクティブペンと指に現在設定されているツールを確認できます。

変更前のインタラクティブツールバー（Ver.2.10）



変更後のインタラクティブツールバー（Ver.2.20）



- : このボタンを押したインタラクティブペンまたは指を使って、コンピューターのマウスカーソルを操作することができます。
- : 各インタラクティブペンと指に現在設定されているツールを確認することができます。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「タッチユニットメニューにタッチユニット設置（手動）を追加」
[p.25](#)

タッチユニットメニューにタッチユニット設置（手動）を追加

〔タッチユニット〕メニューに〔タッチユニット設置（手動）〕が追加されました。

〔タッチユニット設置〕の項目名称が〔タッチユニット設置（自動）〕に変更されました。

詳しくは、本機の『設置工事説明書』をご覧ください。

変更前のタッチユニットメニュー (Ver.2.20)

トップメニュー	サブメニュー	設定値
設置	タッチユニット	タッチユニット設置
ペン/指タッチ		

変更後のタッチユニットメニュー (Ver.2.35)

トップメニュー	サブメニュー	設定値
設置	タッチユニット	• タッチユニット設置（自動） • タッチユニット設置（手動）
ペン/指タッチ		

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 [p.26](#)

アクセス制御およびセカンダリ接続

〔ネットワーク投写〕メニューの〔Screen Mirroring〕の設定項目が変更されました。

変更前の〔ネットワーク投写〕メニュー (Ver. 2.35)

設定	設定	項目または設定値
割り込み接続	オン オフ	〔オン〕にすると、Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。 Screen Mirroring ソースを2系統使用するときは、〔オフ〕に設定します。

変更後の〔ネットワーク投写〕メニュー (Ver. 2.40)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	〔オン〕にすると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。

設定	設定	項目または設定値
セカンダリ接続	割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 • 〔割り込み接続不可〕：先に接続していたデバイスからの映像がScreen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されます。同時に接続できるのは2台までです。 • 〔オフ〕：Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・ 「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 [p.27](#)
- ・ 「ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加」 [p.27](#)

Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更

Screen Mirroringでの投写中に、デバイスを強制的に切断できるようになりました。

投写中にリモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押します。

ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加

〔ブロックリスト削除〕アイコンがホーム画面に追加されました。

〔ネットワーク投写〕メニューで〔アクセス制御〕が〔オン〕に設定されているとき、どのデバイスをScreen Mirroringで接続するかを管理できます。接続しようとしているデバイスを確認画面からブロックすると、そのデバイスがブロックリストに追加されます。このアイコンで、デバイスのブロックを解除できます。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 [p.28](#)

アクセス制御およびセカンダリ接続

- [アクセス制御] メニューの [オン] の表示条件が追加されました。
- [ネットワーク投写] メニューの [Screen Mirroring] > [セカンダリ接続] に設定値として [割り込み接続許可] が追加されました。

変更前の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 2.40)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	[オン] に設定すると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。
セカンダリ接続	割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 • [割り込み接続不可]：先に接続していたデバイスからの映像がScreen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されます。同時に接続できるのは2台までです。 • [オフ]：Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

変更後の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 2.41)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	[オン] に設定すると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。 [オン] は [セカンダリ接続] を [割り込み接続許可] に設定しているときは表示されません。
セカンダリ接続	割り込み接続許可 割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 • [割り込み接続許可]：Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。[アクセス制御] が [オフ] のときに表示されます。 • [割り込み接続不可]：先に接続していたデバイスからの映像がScreen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されます。同時に接続できるのは2台までです。 • [オフ]：Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

付録

新しく用意したオプションや使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- 「オプション」 [p.30](#)
- 「一般のご注意」 [p.31](#)

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

▶ 関連項目

- 「無線LAN用オプション」 [p.30](#)

無線LAN用オプション

ワイヤレスプレゼンテーションシステム **ELPWP10**

本機とWindows/Macコンピューターを直接接続して無線で投写するときに使います。2つのトランスミッター（ELPWT01）と1つの無線LANユニット（ELPAP11）が含まれています。

トランスミッター **ELPWT01**

ワイヤレスプレゼンテーションシステムに追加するトランスミッターです。

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- 「ご注意」 p.31
- 「商標について」 p.31
- 「著作権について」 p.31

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

WindowsおよびMicrosoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

Macは、Apple Inc.の商標です。

Crestron[®]、Crestron Connected[®]は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2020 Seiko Epson Corporation

Rev.01 2026.02 JA